

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス	代表者	柳澤 秀樹	法人・事業所の特徴	<p>1 個別ケア ひとりひとりが歩んでこられた理解と共感に基づき、笑顔と役割を持ち続けられるように、自立支援を基盤としたケアを行います。</p> <p>2 認知症ケア 認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切にして、その人らしく安心して過ごせる居場所と関わりを提供します。</p> <p>3 看取りケア 穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちを迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族に寄り添い支えます。</p> <p>4 地域ケア 住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように法人内外の組織住民の方々との連携を図り支援します。</p>
事業所名	小規模多機能 あったかほ一む中込	管理者	中澤 綾子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も様々な資格取得に向けて努力をし事業所全体のサービス向上へ繋げていく。	今年度は資格取得できなかった。		認知症実践者研修や、介護福祉士資格取得に向け積極的に取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関先、施設内の花や緑は今後も絶やさずに手入れしていく。玄関内の匂いにも気を配り来所された際の印象に気を付けていく。	玄関先の花の植え替えを定期的に変更できた。消臭剤を置き、匂いに配慮できた。来所された際も挨拶等に気を付け対応できた。		玄関先、施設内の環境に今後も配慮し、緑の絶やさない環境作りを行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	区長、民生委員にも協力してもらい子供や地域住民が来所しやすい企画を計画していく。	コロナ禍の為施設外の方との交流は図れなかった。		地域住民の方との交流を目的とした企画を計画していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域資源を利用した外出や活動を増やしていく。	コロナ禍の為外出活動できなかった。		地域資源を利用した外出や活動を企画していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	スタッフ、上司の参加をしていく	コロナ禍の為会議自体の開催が難しかった。		開催時は、職員や上司の参加も行き、現場からの意見等も直接聞いて頂ける場を設ける。

F. 事業所の 防災・災害対策	炊き出し訓練を実施できるよう 計画していく。	コロナ禍の為炊き出し訓練が 出来なかったが、避難訓練では 実際に職員が利用者様役となり、 2階から1階への避難を行い、 消防署の方の指導の下、有意義 な訓練を実施する事が出来た。		炊き出し訓練を実施できるよう 計画していく。
--------------------	---------------------------	--	--	---------------------------